

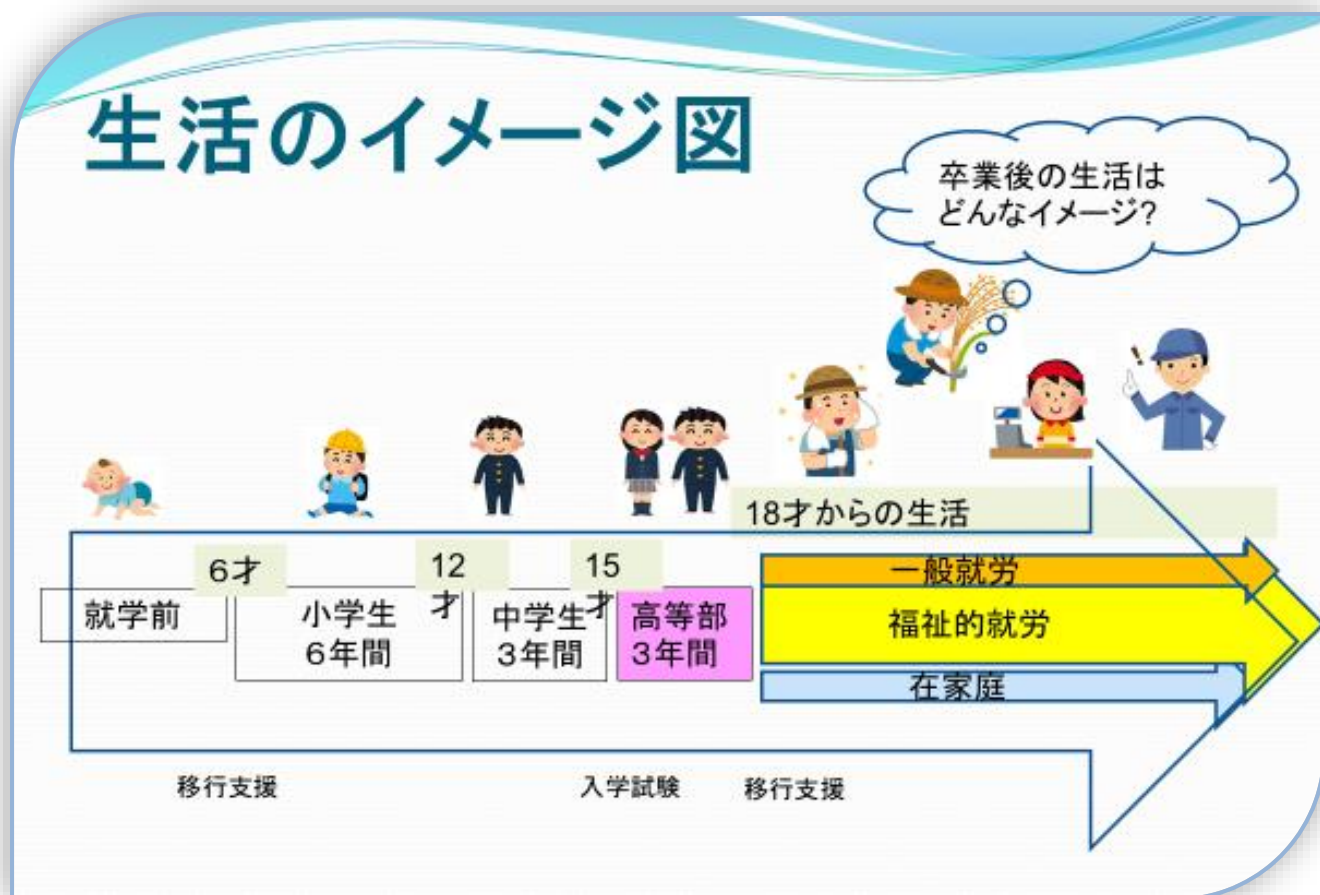
進路だより



富岡特別支援学校
移行支援部 No.3
令和2年6月24日(水)

保護者の方々におかれましては、毎日の生活が、めまぐるしく過ぎていくことと存じます。お子さんをはじめとする、日々の家族との生活の中で、お子さんの成長の発見に喜んだり、逆に悩んだり、不安になったりと、いろいろなことがあると思われまます。

「木を見て森を見ず」ということわざがあります。そこで、第3号の進路だよりでは、お子さんの生活のイメージを図にして、少し俯瞰的な視点で紹介いたします。



お子さんのライフステージは、今どのあたりでしょうか。小学部(校)・中学部(校)・高等部の18歳までと、それからの生活、図式化するとこんな感じになります。

高等部に入ると、本格的に卒業後を意識した学習が始まります。

作業学習の時間が毎日あり(1日平均2時間)、働くために必要な力をより実践的に学習していきます。

例えば、**一般就労を目指す生徒**には、立ち作業にも耐えられる体力や、長時間、正確に作業を続けることのできる力を身につける、**福祉的就労を目指す生徒**には、作業に真剣に向き合える力を身につけたり、余暇とのメリハリの大切さや、集団活動の楽しさを感じたりできる力、**生活介護や入所や在家庭の生徒**には、QOL(Quality of Life)「自分の好きなこと」など幸せを見出せることを探すなど、より卒業後を意識した個別の指導になっていきます。(もちろん、どの生徒にも様々なことは、重複しています。)

平均寿命が、80歳を超える今、18歳で学校を卒業した場合、単純な引き算でも62年間の人生があります。お子さんの得意なこと、好きなこと、強みなど、意識して見つけ、日頃から家族の中で、話題に取り上げることとはとても大切なことだと思われまます。